



「洋光台次世代だより」は「ラブリー洋光台」でもご覧いただけます。 <http://lovely-yokodai.yokohama/>

次世代まちづくりの会 スタート！

次世代を担う若者の活動をみんなで支え、「ずっと住み続けたい街 洋光台♥」を創ろう！

若者による 若者が住みたいまちづくり

平成15年に活動をスタートした「洋光台まちづくり協議会」は、数多くの活動成果をあげ、地域の活性化に寄与して来ました。そして、県・市・区にUR都市機構が加わって推進する「洋光台エリア会議」のテーブルに着くこととなってからは、その活動が各方面から更に注目されるようになりました。

「洋光台エリア会議」においては、年々活発化してきたCCラボでのコミュニティ活動の浸透や、昨年5000人以上の大人や子供達の参加をいただいたハロウィンなどが定着して来ました。



次世代まちづくりの会 三上 勇夫 代表

また洋光台は、横浜市が推進する持続可能な住宅地モデルプロジェクトのモデル地区です。そのプロジェクトの一環として、次世代を担う高校生達による洋光台の未来についての提案を、3年間に亘って3回のシンポジウムで拝聴して来ました。

提案の中には既に実現したものもあり、次世代活動には数々の潜在的な可能性を感じさせました。それらを踏まえて、なんとしても若者に住んで欲しいまちづくりを希い、横浜市の協力を得て「次世代まちづくりの会」を立ち上げました。

これは地域の既存のコミュニティの枠を越え、世代を越えて出来るだけ多くの方々の活動参加を期待するものです。



横浜南陵高校
角田 咲太郎 君

こんにちは。
県立横浜南陵高校二年の角田です。

自分は生粋の洋光台産まれの洋光台育ちです。しかし、あと5年足らずで社会人となり、洋光台を去ってしまいます。その前にお世話になった洋光台にチョットは恩返しをしようという思いで「次世代まちづくりの会」を始めました…ってというのは親の妄想です(笑)

残された時間で、これまで自分が楽しいと思ったこと・やりたかったことを精一杯やって、洋光台を盛り上げられたら良いなと思っています。

自分はアイデアが枯れることはないと思います。これからイベントをたくさんのやるつもりなので期待してください。皆さんにとって面白いかどうかはやってみないと分かりません。とりあえず、興味がなくてもイベントには参加してくださいね！

主役は私達です！

鶴沼高校
榎藤 葉月 さん



こんにちは。
鶴沼高校三年生の榎藤です。

最近の洋光台は、サンモール商店街プロレスや中央団地にできたCCラボで催されている多種多様なイベントを良く見かけるようになりました。幼い頃の記憶にない光景で『洋光台は楽しいなあ』と改めて感じています。

私が洋光台でのイベントに関わり始めたのは一年前。たくさんのイベントとそれに関わる人達に巡り合えたことがすごく嬉しいです。

私が楽しいなあと感じたように、このまちに暮らす人達にもそう感じて貰えたら嬉しいな。そして、私達次世代がやるイベントをきっかけに、洋光台に暮らす・関わる人達みんなが洋光台というまちを好きになってくれるといいなと思います。



私達も応援します！

県立横浜南陵高校 阿部校長

横浜南陵高校は平成15年に開校し、今年4月に第16期生を迎えます。現在約800名の生徒が在籍し、洋光台出身の生徒や通学で洋光台駅を毎日使う生徒もたくさんいます。



横浜南陵高校にとって、「地元」である洋光台が魅力ある街になることは、在校生はもちろん、これから本校を目指す中学生にとっても、大切なことです。この「次世代まちづくりの会」には、本校から既に参加している生徒もあり、これからは会の活動を、ポスター掲示などを通して、随時全校生徒に紹介していきたいと思います。

洋光台第二中学校 狩野校長

洋光台地区には他地区にはない魅力ある行事がたくさんあり、毎年、多くの生徒が参加します。そして、貴重な発表の場、自己を高める場となっております。



洋光台がさらにさらに魅力あるまちとなるよう、困ったときには助け合えるまちとなるよう「次世代まちづくりの会」の活動に期待し、全力で応援させていただきます。

洋光台ケアプラザ 松崎所長

シニア世代には知識や経験の豊富な方がたくさんいらっしゃいます。その知識や経験を少しでも次世代を担う中学生や高校生に伝えていく、また受け継いでいく、そんな機会をつくりながら、互いの交流ができればいいなと思います。そして、そんな経験を通して中高生が地域活動の担い手として活躍していくことを期待します。



次世代まちづくりへの期待について

横浜市は洋光台において、郊外住宅地の再生を目指したモデルプロジェクトをUR都市機構と協働で進めていますが、郊外住宅地には、高校進学以降に子どもと地域の繋がりが希薄化するといった共通課題があると考えています。この会は、地域が主体となって「次世代が提案するまちづくり」による繋がりを目指す、全国でも例のないものです。

この活動によって洋光台の新たな魅力が生まれ、郊外まちづくりの先進事例となることを期待しています。(横浜市)

洋光台第一中学校 根岸校長

これまでも洋光台地区では、健民祭、音楽のつどい、地域防災訓練等多くの地域行事が行われ、本校生徒もボランティアという形で参加させていただいております。



更にこの度は「次世代まちづくりの会」による『ずっと住みたい街 洋光台♥』を創るため、次世代を担う子供達のことや洋光台の街のことを真剣に考えていただき、ありがとうございます。ここでの活動が、洋光台地区のより一層の発展に少しでも貢献することができたらと考えます。

はまぎんこども宇宙科学館 青山副館長

中高生になると科学館に来る機会は少なくなると思います。でも、皆さんが科学館に来ていた頃感じていた、探究心や好奇心を忘れずに、そして自由な発想で次世代まちづくりの活動に取り組んで欲しいと思います。



毎週土曜日は高校生以下が無料で入館できます。行き詰ることがあれば、いつでも遊びに来てください。皆さんの活躍を期待しています。

ルネッサンスin洋光台 (UR都市機構、神奈川県、横浜市) 尾神団地マネージャー

ルネッサンスin洋光台は、洋光台を元気にする多世代交流の促進やコミュニティ活動にチャレンジする場として、CCラボを試行的に開設しました。



若者が持っている自由で豊かな発想を実践する場として、CCラボを活用していただき、次世代まちづくりの会がまちに新たな風を吹き込んでくれることを期待しています。

< 編集後記 >

洋光台「ふるさとづくり」を進めるまちづくりの担い手として「次世代まちづくりの会」が発足しました。この会には10代から80代まで幅広い世代が関わっています。世代間のミゾを埋めるために、先ず若者から意見を聴き、大人達(関係諸団体)との意見調整を行ってまいります。学業の合間を縫っての活動です。物足りなく感じることもあると思いますが、暖かい眼でお付き合い願います。

(活動調整役: 松浦、大竹、水越)